

ドローンより風がいいのだ号

ブル通信

1601

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入
ご売却
車検
修理
査定
見積もり

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

明けましておめでとうございます。いつも弊社の
ご利用ありがとうございます。

本年も変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。
早速ではございますが日本一下らないブル通信、
本年の第1号をお届けさせていただきます。

申年には

赤いパンツがいいのだあ！

ということでは本年は申年、こういった暦のことは
全くわからないのであるが丙申（ひのえさる、と読
むらしい）と言って60年ぶりに巡ってきた年らし
い。

全体的な意味としては果実が成熟していつて固
まっていく状態を表す年ということのようである。
完熟までは行かないが徐々に形が明らかになり固
まってくるのが丙申の年と言うことのようにである。
前回の丙申は昭和31年、まだ私も生まれる前である。
その時に何が起きていたかという、日本は神武
景気と言われた時期らしい。

国際的には国際連合に加盟、石原裕次郎がデビュー。

海外ではエルビスプレスリーがこの年に大活躍して
不動のポジションを確保。ソ連でフルシチョフがス
ターリンの独裁を批判。うーんこのあたりになつて
くると何のことだか全くわからないのである。で、
小難しい事は全くわからないのであるが、なんでも
申年の色というのがあつたらしく申年の色は「赤」
らしい。申年に赤い下着を贈ると病気が治る。とか
申年に送られた下着を身につけると元気になる。な
どの言い伝えが日本各地に伝わっていると、色々調
べてみると書いてあるわけだが、日本各地に伝わっ
ていると書いてある割には私自身は全く聞いた
ことがないので、本当に日本各地に伝わっているか
は謎である。

申は去るを意味して悪い事が去るとか病が去る
などと幸せを呼ぶものとする説があるらしい。また
赤もめでたい色という事らしく申年の下着や赤い
下着と幸福とを結びつける説が各地方に残ってい
るらしい。が、くどいようであるが私は聞いたこと
がないので本当に各地に伝承されているのかは俄
かに信じがたい。また申年は去るというののも理屈
っぽい私としては、ただのダジャレではないかと

疑うわけであるがとりあえずは縁起物ということであるので今年は赤い下着でも贈ってもらうか！と思った次第であるが、そこでハッとな気がついたのだが贈ってくれるような人がいないのである。仕方ないので自分で赤いパンツでも買って履いてみるしかないようなのであった。

アイドリングストップは

どの程度、燃料を節約できるのだ？を検証してみた。

さて最近はかなりりの車にアイドリングストップ機能がつくようになっているのであるが、実際のところガソリンの節約にはどの程度、役に立つのか？検証してみたのである。

検証といっても白衣みたいな服を着て科学者風の装いで試験管やビーカーみたいな道具を使い、難しい顔をしてパソコンを叩いて色々な角度から調べるみたいな大層な事をしてみたわけではない。

私が乗っているのは昨年、清水の舞台から飛び降りるような気持ちで買ったスズキハスラーターボ4WDのアイドリングストップ機能付きの車でありこの車にはどれだけがソリンをアイドリングストップによって節約したのが見える機能があるのでこのデータを使ってみただけである。というのも嘘で自分で買うこともできないので、知人に調べてもらった。

で、このハスラーは1年間で走行距離が約18000キロ（かなり乗る方である）平均燃費はリッ

ター15キロくらい、結構気にしておられるがだいたい14〜15キロくらいである。

ほぼ1年間使ってみて総アイドリングストップ時間は31時間12分37秒である。そしてじゃじゃん、節約燃料は14044ミリリットルつまりおおむね1年間で14リッターを節約したことになる。

ということは1分あたりのアイドリングストップでハスラーの場合は7・5ミリリットルの節約ということになるわけで、これが多いのか少ないのかは人それぞれ感覚は違うと思うのであるがいずれにしても環境にはいいしお金も節約できるので決して悪いことではないのであるが、ここで1点のみ、たまには車屋らしく重要なことをお伝えしておきたい。

ハスラーはターボ車なので高速道路に乗るときは必ずアイドリングストップ機能はオフにしてから高速に乗るようにしているそうです。ターボ車でないければそんな面倒な事する必要はないと思いますが、特に軽自動車のターボ車の場合高速道路等ターボをぶん回すような環境で走っていきなりエンジン停止すると相当な確率でターボに悪影響を与えます。

以前にもこの件ブル通信で触れましたが、アイドリングストップ機能がついていて、オフにしておかないとパーキングエリア等に入って休憩でもしようとした場合などいきなりエンジンが止まってしまうため、もしターボ修理となればガソリン節約で浮いたお金以上の金額がかかることは間違いないため、アイドリングストップ機能がついていないお車に乗っていて、それがターボ車の場合には要注意です。結構簡単に壊れますよ。